

中村福治教授の略歴・業績目録

略 歴

- 1946年 7月23日 大阪府岸和田市に生まれる
1969年 3月 小樽商科大学卒業
1971年 3月 東北大学大学院農学研究科修士課程修了
1974年 3月 東北大学大学院農学研究科博士課程単位取得退学
1977年 4月 立命館大学経営学部助教授
1987年 4月 立命館大学経営学部教授
1994年 9月 立命館大学国際関係学部教授
2005年 4月 立命館大学国際関係学部名誉教授
(学内役職は省略)

業 績 一 覧

著 作

単著

- 『戦時下抵抗運動と「青年の環」』部落問題研究所 1986年10月
『融和運動史研究』部落問題研究所 1988年 3月
『北川宗藏 一本の道をまっすぐに』創風社 1992年 9月
『金石範と「火山島」 済州島4・3事件と在日朝鮮人文学』同時代社 2001年 8月

共著

- 『日本帝国主義の経済政策』後藤靖編 柏書房 1991年 6月 第九章「植民地朝鮮地主制研究
の二、三の論点 張矢遠氏の近業を中心に」(291-321)
『日本地主制と近代村落』安孫子麟編 創風社 1994年10月 「朝鮮地主制研究の新たな動向」
(73-97)

単編著

『日本における地主的土地所有の危機』村上吉作（野村耕作）著 文理閣 1988年9月

『経済学方法論』北川宗蔵著 こぶし書房 1995年9月

論文

「昭和恐慌以降の農業と農村体制」共著『小牛田町史』中巻 1973年3月

「農地改革期の小牛田農業」『小牛田町史』下巻 1973年6月

「食糧増産から適地適産へ」『小牛田町史』下巻 1973年6月

「基本法農政から総合農政へ」『小牛田町史』下巻 1973年6月

「大正・昭和期における地主貸金会社の展開過程 - 宮城県遠田郡北浦村千葉株式会社の分析」
『東北大学農学研究所報告』25巻1号 1973年

「野村耕作（村上吉作）の日本地主制論」『経済』128巻 1974年

「野村耕作（村上吉作）の天皇制国家論・戦略論」『東北大学農学研究所報告』27巻1号 1975年

「高橋貞樹と水平運動」『部落問題研究』51巻 部落問題研究所 1976年

「1920年代前半期の融和政策」『部落問題研究』63巻 部落問題研究所 1980年

「1920年代前半期の融和政策・融和運動」藤井・岩井・後藤編 『日本近代国家と民衆運動』
有斐閣 1980年9月

「内部自覚運動の形成と融和運動」『立命館経営学』20巻1号 1981年

「『融和事業の総合的進展に関する要綱』の決定、並びにその改訂をめぐる諸問題」『立命館経営学』20巻3号、4号 1981年

「部落経済更正運動の展開と融和運動（上・下）」『立命館経営学』20巻2号、5・6号合併号 1982年

「近・現代部落史研究の成果と課題」『部落問題研究』77巻 部落問題研究所 1983年

「昭和恐慌下の水平運動」『日本史研究』247巻 日本史研究会 1983年

「15年戦争下融和運動における模範青年の思想と行動」『部落問題研究』80巻 部落問題研究所 1984年

「明治・大正期の大阪農業」『大阪府農業史』大阪府農業会議 1984年7月

「近代」（池田正との共著）『近代京都の部落』部落問題研究所 1986年11月

「北川宗蔵の読書・研究遍歴」『立命館経営学』25巻6号 1987年

「戦後の北川宗蔵」『立命館経営学』27巻3号、4号 1988年11月

「北川宗蔵の弁証法把握の特質」『立命館経営学』28巻2号 1989年7月

「北川宗蔵の経営学批判の方法の生成過程」『立命館経営学』28巻3号 1989年9月

「北川宗蔵の経営学批判の方法」『東北大学年報経済学』51巻2号 1989年12月

「未解放部落の支配構造に関する若干の論点」『研究年報経済学』53巻4号 東北大学経済学会
1992年3月

- 「金南柱」『歴史批評』31巻 1995年
- 「イデオロギー 詩とその運命 金南柱論」『葦牙』22巻 1998年
- 「5・18と金南柱（ハングル）」プルンスプ 『5.18は終わったか』（ソウル・ハングル）1999年5月
- 「日本と在日を相対化する『酔いどれ船の青春』」月刊『オルタ』（13）2000年12月
- 「1968年特集 急進的學生運動 日本」『歴史批評』52巻 歴史批評社 2000年
- 「金石範文学が在日朝鮮人文学において占める位置」『龍鳳論叢』29巻（75-98）金南大学 2000年
- 「韓国の人権問題」『人権と部落問題』692号（64-67）部落問題研究所 2002年8月
- 「文富軾の挑戦 80年代運動圏内のファシズム論争に関する一考察」高麗大学アジア問題研究所 2003年2月

翻 訳

単訳

- 張矢遠「日本帝国主義下の大地主の存在形態に関する研究」『立命館経営学』29巻1号 1990年5月
- カンナムン他「『資本論』の理解」『マルクス・エンゲルス・マルクス主義研究』11号 マルクス・エンゲルス研究者の会 1990年9月
- 高淑和「日帝下・衡平社の研究」『部落問題研究』110輯 部落問題研究所 1991年3月
- キムジンギョン「隷属社会における私学問題の本質」『立命館教育科学研究』1号 1991年3月
- 鄭文吉「マルクス=エンゲルスの『ドイツ・イデオロギー』、『I. フォイエルバッハ』章の再構成 リヤザノフ以来の各種テキストについての比較検討（上）・（下）」『立命館経営学』30巻1号，2号 1991年7月
- 洪性讚「日帝下・企業家的農場型地主制の歴史的な性格」『立命館経営学』30巻5号，6号 1992年3月
- 崔章集「韓国の民主化:移行と改革」『立命館国際研究』7巻3号 1994年12月
- 崔章集『現代韓国の政治変動』木鐸社 1997年9月
- 崔章集『韓国現代政治の条件』法政大学出版局 1999年3月
- 玄基榮『地上に匙ひとつ』平凡社 2002年6月

共訳

- 曹恩 『沈黙で建てた家』（秦花秀，村上尚子との共訳）（217-334）平凡社 2004年12月

